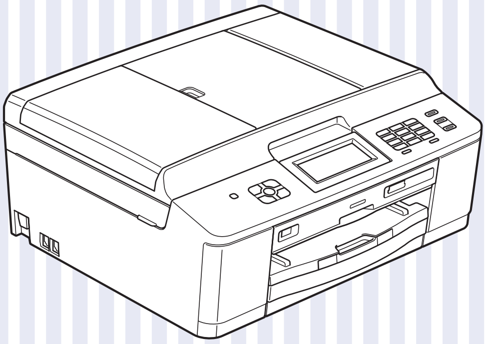
brother

MyMio

DCP-J925N
MFC-J825N
MFC-J955DN/DWN

ユーザーズガイド
－応用編－



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 「こんなときは」で調べる

▼

2 サポート ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version 0 JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	付属 CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた⇒ ユーザーズガイド基本編「CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式） ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。	
7. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 7 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

Memo

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

確認

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J825N のイラストを使用しています。

本書で対象となる製品

本書は DCP-J925N、MFC-J825N、MFC-J955DN、MFC-J955DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は､本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

第 1 章

お好みで設定する

お好みで設定してください

画面の設定を変更する

お好みで設定してください

本製品の画面の設定を変更します。

画面設定を変更する

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

画面の設定画面が表示されます。

2 変更したい項目を選ぶ

- 【画面の明るさ】
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなっても画面の表示は確認できます。)

3 目的の設定を選ぶ

- 画面の明るさ
  【明るく/標準/暗く】
- 照明ダウンタイマー
  【切/ 10 秒/ 20 秒/ 30 秒】

4 停止/終了 を押して設定を終了する

子機の画面設定を変更する(MFC-J955DN/DWN のみ)

1 機能/確定 を押す

2 ✚で【ガメンノコントラスト】を選び、機能/確定 を押す

3 ✚で好みのコントラストを選び、機能/確定 を押す

4 切 を押して設定を終了する

表示言語を設定する（DCP-J925N のみ）

画面に表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

表示言語設定画面が表示されます。

2 【日本語】または【英語】を選ぶ

3 停止/終了 を押して設定を終了する

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

1. Press 【メニュー】, and press 【▼】or【▲】to choose 【初期設定】-【表示言語設定】.
2. Press 【英語】.
3. Press 停止/終了.

英語版 OS 用ドライバーのインストール方法については、付属 CD-ROM の install フォルダーの中の dcp-j925n フォルダーにある「Jpneng.txt」を参照してください。
For the method of installing the English OS driver, see "Jpneng.txt" in "￥install￥dcp-j925n" folder stored on the attached CD-ROM.

ファクスモードに戻る時間を設定する（MFC モデルのみ）

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【モードタイマー】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

モードタイマー設定画面が表示されます。

2 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

> 【0 秒】を選んだ場合は、各モードでの操作が完了すると、すぐにファクスモードに戻ります。

設定が有効になります。

3 

を押して設定を終了する

ファクス自動再ダイヤル有無を設定する（MFC モデルのみ）

相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。お買い上げ時は【オン】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

ファクス自動再ダイヤル設定画面が表示されます。

2 【オン】または【オフ】を選ぶ

- 【オン】：
  相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、自動で再ダイヤルを行います。
- 【オフ】：
  自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

設定が有効になります。

3 停止／終了を押して設定を終了する

おやすみモードを設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）

設定した時刻に留守モードに切替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定ができます。

おやすみ開始/終了時刻を設定する

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【おやすみタイマー設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

おやすみタイマーの設定画面が表示されます。

2 【おやすみタイマー】を押す

3 【オン】を押す

おやすみタイマーが有効になります。

4 【開始時刻】を押す

5 おやすみタイマーの開始時刻を、画面に表示されているテンキーで入力し、【OK】を押す

6 【終了時刻】を押す

7 おやすみタイマーの終了時刻を、画面に表示されているテンキーで入力し、【OK】を押す

8 停止/終了 を押して設定を終了する

すぐにおやすみモードを開始/終了する

1 画面上の【おやすみ】を押す

おやすみタイマーでおやすみモード中の場合、おやすみモードが解除されます。

おやすみモード解除中の場合、【おやすみモードに設定しますか?着信音は鳴らずに留守電になります】と表示されます。【はい】を押すとおやすみモードが開始されます。

- おやすみモード中に【おやすみ】を押しておやすみモードを解除すると、次のおやすみタイマー開始時までおやすみモードは解除されます。
- おやすみモード解除中に【おやすみ】を押しておやすみモードを開始させると、次のおやすみタイマー解除時までおやすみモードになります。

着信音と保留音を設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。本製品には、あらかじめ 4 種類のベル音と 30 曲のメロディが登録されています。お買い上げ時は、着信音は【ベル 1】、保留音は【花のワルツ】に設定されています。

確認

- 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- 呼出回数を 0 回に設定していると、メロディに設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「呼出回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

4 種類のベル音と下記のメロディを着信音や保留音として設定できます。

曲名		曲名	
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【メロディ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【着信音】または【保留メロディ】を選ぶ

3 メロディを選び、【OK】を押す

現在選択されているメロディが流れます。
【OK】を押すとメロディが止まります。

> ベル音は保留メロディには設定できません。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

> 構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を【ベル 2】または【SIR】に設定しているときは、本製品で【ベル 1】に設定しても、メニュー選択時に聞こえる【ベル 1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。
>
> 再呼出音をメロディにすることはできません。

相手先ごとに着信音を変える

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは相手先ごとに着信音を設定できます。
⇒ 23 ページ「着信鳴り分けを設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）」

子機の着信音を選ぶ

1 種類のベル音と下記のメロディを着信音として設定できます。

曲名	
1	アヴェ・マリア
2	オオキナフルドケイ
3	ガボット
4	キラキラボシ
5	シキヨリ［ハル］
6	ハナノワルツ

1 **機能/確定を押す**

2 **【メイドウオンセッテイ】が選択されていることを確認し、機能/確定を押す**

3 **【1. チャクシンオン】が選択されていることを確認し、機能/確定を押す**

現在選択されているメロディが流れます。

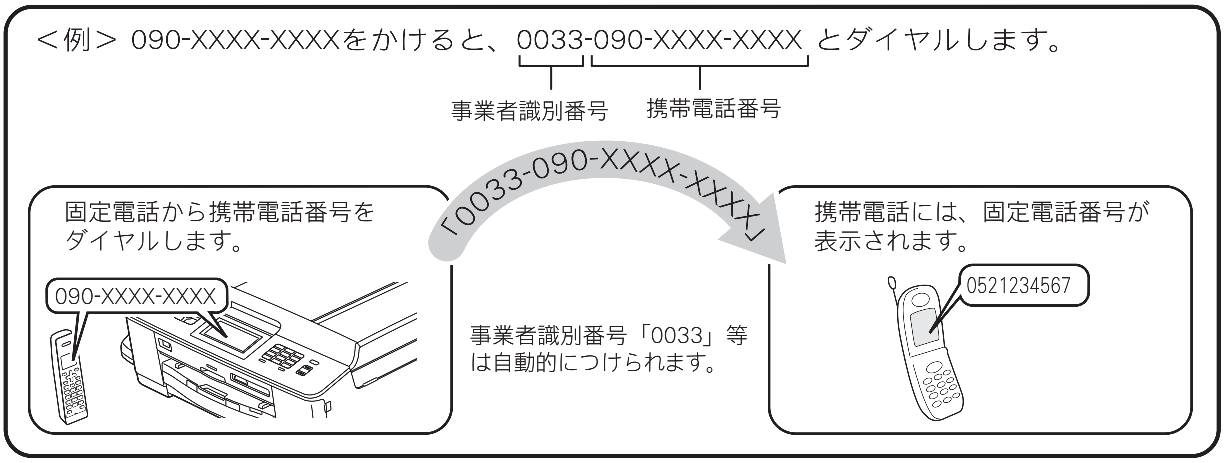
4 **十字キーで着信音を選び、機能/確定を押す**

5 **切を押して設定を終了する**

ケータイ通話お得サービスを利用する（MFC-J955DN/DWN のみ）

ケータイ通話お得サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号をダイヤルすると、固定電話の電話会社が設定した料金でご利用できるサービスです。
ケータイ通話お得サービスを利用する設定にすると、本製品から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動的につけてダイヤルできます。
ただし、ひかり電話や直収電話サービスをご利用になっている場合は、この機能はご利用になれません。
お買い上げ時は、ケータイ通話お得サービスは【しない】に設定されています。



確認

- ■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス [*1]、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【しない】に設定してください。
- ■ ケータイ通話お得サービスは、登録した各事業者によりサービス提供エリアが異なります。サービス提供エリアについては、各事業者にお問い合わせください。
- ■ ケータイ通話お得サービスを利用するときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号や IP 電話解除番号 [*2] をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料が異なる場合があります。
- ■ 直収電話サービスについては、各サービス事業者へお問い合わせください。
- ■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンに接続している場合は、ケータイ通話お得サービスを利用できません。【しない】に設定してください。
- ■ 電話をかけても、しばらく「ツー」という音だけが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- ■ 事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかることがありますが故障ではありません。
- ■ 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号は、「090」「080」から始まる番号のみです。PHS への通話は利用できません。
- ■ マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- ■ 通話先、通話時間や発信事業者の料金体系により、料金は安くならない場合があります。サービスについては、各事業者へお問い合わせください。

[*1] 直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例 ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど）

[*2] IP 電話サービスを利用時、一時的に IP 電話を利用しないための番号です。

NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスのご案内

- お申し込み手続きは不要です。定額料もかかりません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、フリーアクセス（「0800」で始まる番号）など一部サービスを利用できない場合があります。
- 携帯電話への通話料金はNTTコミュニケーションズご利用分として請求されます。
- NTT コミュニケーションズが提供する「固定電話から携帯電話への通話サービス (0033 モバイル)」詳細については、NTT コミュニケーションズのカスタマーズフロントにお問い合わせください。

NTT コミュニケーションズ
カスタマーズフロント

0120-506506
受付時間：午前 9:00 ～午後 9:00（年末年始除く）
※本製品の機能・設定については、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。

確認

■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス [*1]、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【しない】に設定してください。

[*1] 直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例：ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど）

ケータイ通話お得サービスを設定する

［ケータイ通話お得サービス］

ひかり電話や直収電話サービスをご利用になっている場合は、ケータイ通話お得サービスはご利用になれません。IP 電話をご利用の場合は、ケータイ通話お得サービスのご利用は可能です。この場合は、IP 電話解除番号の設定が必要です。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【ケータイ通話お得サービス】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

ケータイ通話お得サービスの設定画面が表示されます。

2 【する】を押す

ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は、【しない】を選びます。

3 電話回線を選ぶ

- 【一般回線】：一般回線をお使いの場合に選びます。
  ⇒手順 8 へ
- 【IP 電話】:IP 電話をお使いの場合に選びます。
  ⇒手順 4 へ
- 【ひかり電話 / その他】：ケータイ通話お得サービスの設定を取りやめます。
  ⇒手順 8 へ

4 メッセージを確認して、【OK】を押す

5 【IP 電話解除番号は分かりますか ?】と表示された画面で、【はい】を押す

6 IP 電話解除番号を入力して、【OK】を押す

画面に表示されているテンキーで番号を入力します。

また、各 IP 電話事業者の具体的な解除番号については、下表を参照してください。

IP 電話解除番号とは、携帯電話に発信するときなどに、IP 電話を使わずに NTT などの一般回線で発信するための番号です。

確認

■ 携帯電話への発信ができなくなる場合がありますので、IP 電話解除番号が正しく入力されていることを確認してください。

7 【はい】を押す

IP 電話解除番号を修正するときは、【いいえ】を押してください。

8 停止／終了 を押して設定を終了する

「0033」（NTT コミュニケーションズ）以外の事業者をご利用の場合は、引き続き事業者識別番号を変更してください。

IP 電話をご利用の方がケータイ通話お得サービスを設定すると、携帯電話への発信のみ IP 回線利用ではなくなります。

ケータイ通話お得サービスは、次の場合も利用できます。

- 「184」「186」などの番号を付けたとき（「184」をつけて非通知で電話をかけると、携帯電話に電話番号は表示されません。）
- 再ダイヤル、発信履歴からかけ直すとき（事業者識別番号は画面に表示されません）
- 電話帳からかけるとき
- 着信履歴からかけ直すとき（ナンバーディスプレイ利用時のみ）

IP 電話解除番号の例（2011 年 4 月 1 日現在）

事業者名	サービス名	IP 電話解除番号 *2
Yahoo! BB（ソフトバンク BB）*1	Yahoo! BB フォン	0000p 最後に必ず「p」（ポーズ）を入力してください。
OCN（NTT コミュニケーションズ）*1	OCN ドットフォン	0000
KDDI（DION）*1 NTT 東日本・西日本の IP 電話対応機器をご利用の場合	KDDI － IP 電話	0000
KDDI（DION）*1 NTT 東日本･西日本以外の IP 電話対応機器をご利用の場合	KDDI － IP 電話	0009

*1 Yahoo! BB 光、OCN 光サービス、KDDI メタルプラスは、ケータイ通話お得サービスをご利用になれません。

*2 IP 電話解除番号は予告なく変更されることがあります。正しく設定してもサービスが利用できない場合は、ご契約中の IP 電話事業者にお問い合わせください。

上記にないIP電話サービスをご利用の場合は、ご契約中のIP電話事業者に、IP電話解除番号と「p」（ポーズ）入力が必要かどうかをお問い合わせください。

事業者識別番号を変更する

[事業者識別番号]

「0033」(NTT コミュニケーションズ) 以外のケータイ通話お得サービスをご利用のときは、事業者識別番号を変更します。
お買い上げ時は、「0033」に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【事業者識別番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

事業者識別番号の設定画面が表示されます。

2 事業者識別番号を入力して、【OK】を押す

画面に表示されているテンキーで番号を入力します。

3 

を押して設定を終了する

一時的にケータイ通話お得サービスを利用せずに発信したいときは
ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していても、サービスを利用したくない場合は、【キャッチ】を押してからダイヤルすると、一時的にサービスをキャンセルできます。

第２章

電話（MFC モデルのみ）

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する オプションサービス

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

確認

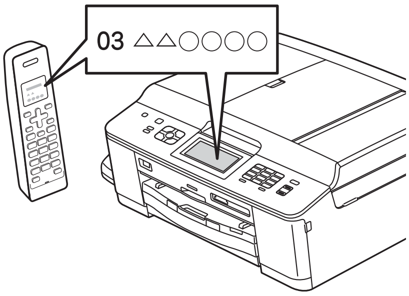
- ■ 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】に設定してください。
- ■ ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- ■ 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ■ ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ■ 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

（MFC-J955DN/DWN をお使いのかたへ）

- ■ 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- ■ IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。

電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。

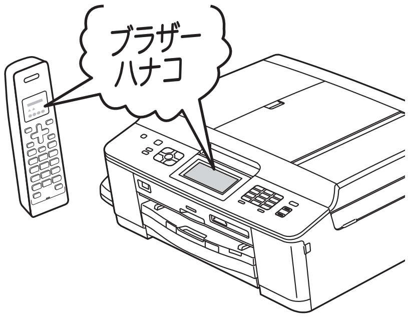


＊子機はMFC-J955DN/DWNのみ

名前表示機能

電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が画面に表示されます。

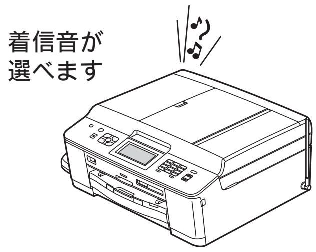
※電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本製品に登録された名前が表示されます。



＊子機はMFC-J955DN/DWNのみ

着信音鳴り分け機能（MFC-J955DN/DWN 親機のみ）

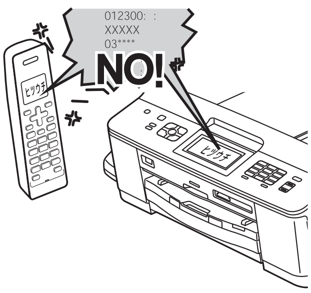
電話番号ごとに着信音を指定できます。
また、迷惑指定にして、特定の番号からかかってきても、着信音を鳴らさないこともできます。



迷惑電話防止 / 非通知着信拒否 / 公衆電話拒否機能 / 表示圏外拒否機能（MFC-J955DN/DWN のみ）

迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。
また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話、表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプターによっては、着信を拒否できない場合があります。



着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。

- 画面に表示する
- 「着信履歴」として印刷する（子機からは印刷できません）
- 電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける（MFC-J955DN/DWN のみ）



＊子機はMFC-J955DN/DWNのみ

ナンバー・ディスプレイサービスを設定する（MFC-J825N のみ）

［ナンバーディスプレイ］

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは【あり】に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは【なし】に設定します。
お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ【なし】に設定されています。

確認

- 「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくためには、電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約していない場合は【なし】にしてください。
- ナンバー・ディスプレイは、複数台の装置に表示することはできません。外付け電話を接続して本製品でナンバー・ディスプレイを使用する場合は、外付け電話のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。ただし、本製品の設定により、外付け電話の番号表示を優先させることは可能です。
- 外付け電話でナンバー・ディスプレイ機能を使用する場合、受信モードを【F/T= 自動切換え】に設定していると再呼出音が鳴り始めてからは、画面に番号表示されない可能性があります。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 設定項目を選ぶ

- 【あり】
  本製品の画面に相手の電話番号が表示されます。
- 【なし】
  ナンバー・ディスプレイ機能を使用しません。
- 【外付け電話優先】
  本製品と接続している電話機に相手の電話番号が表示されます。

3 停止／終了 を押して設定を終了する

ナンバー・ディスプレイサービスを設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）

［ナンバーディスプレイ］

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは【あり】に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは【なし】に設定します。
【あり】に設定しているときは、【着信鳴り分け】【非通知着信拒否】【公衆電話拒否】【表示圏外拒否】【着信拒否モニター】【キャッチディスプレイ】などが設定できます。また、「着信履歴」を表示したり、「着信履歴リスト」を印刷できます。
お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ【あり】に設定されています。

確認

- ■「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくためには、電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約していない場合は【なし】にしてください。
- ■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイ」の設定を【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【あり】または【なし】を選ぶ

- 【あり】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できます。（別途、電話会社との契約が必要です）。
- 【なし】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。

親機



子機



● その他の表示例
- 【非通知】
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】
  公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】
  相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

- 【なし】に設定しているときは、【着信鳴り分け】【非通知着信拒否】【公衆電話拒否】【表示圏外拒否】【着信拒否モニター】などのメニューを選ぶことはできません。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。
- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本製品に登録された名前が表示されます。
- 「ネーム・ディスプレイ」の契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示できます。

着信鳴り分けを設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）

［着信鳴り分け］

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、かけてきた相手によって着信音を変えたり、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したりすることができます。

電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【あり】を押す

3 【着信鳴り分け】を押す

4 着信音を鳴り分けさせたい電話番号を選ぶ

> *01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
> *01 あ のときは五十音順に、
> *01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

5 着信鳴り分け設定を選ぶ

設定は【ファクス／迷惑指定／電話】から選びます。

- 【ファクス】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】
  親機と子機の着信音が鳴りません。
  ⇒ 24 ページ「迷惑電話を防止する」
- 【電話】
  設定した着信音で親機が鳴ります。

【電話】を選んだ場合⇒手順 6 へ

【ファクス】【迷惑指定】を選んだ場合
⇒手順 7 へ

6 着信音を選び、【OK】を押す

⇒ 11 ページ「親機の着信音・保留音を選ぶ」

7 停止/終了 を押して設定を終了する

電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 機能/確定 を押し、✥「メイドウオンセッテイ」機能/確定「2. チャクシン ナリワケ」を選び、機能/確定 を押す

着信音を選ぶ画面が表示されます。

2 ✥ で着信音を選び、機能/確定 を押す

⇒ 12 ページ「子機の着信音を選ぶ」

3 切 を押す

> 子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
>
> 子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

ナンバー・ディスプレイの利用方法（MFC-J955DN/DWN 親機のみ）

迷惑電話を防止する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（23 ページ）の手順 3 までを行う
(2) 着信音を鳴らしたくない電話番号を選ぶ
(3) 【迷惑指定】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

- 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。
- 親機を【迷惑指定】に設定すると、子機も着信音が鳴りません。

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（23 ページ）の手順 2 までを行う
(2) 【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を押す
(3) 【する】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

- 番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
⇒ 24 ページ「着信拒否モニターを設定する」
- ファクスは受信しません。

着信拒否モニターを設定する

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否のときの着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（23 ページ）の手順 2 までを行う
(2) 【着信拒否モニター】を押す
(3) 【する】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

- スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

着信履歴を利用する（MFC-J955DN/DWN のみ）

［着信履歴］

確認

■ ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。親機には、着信日時のみ表示されます。子機には、「チャクシンリレキ　ナシ」と表示されます。

着信履歴を見る

親機の場合

(1) 再ダイヤル/履歴 を押す

(2) 【着信履歴】を押す

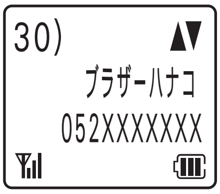
◆最新の着信履歴が表示されます。



子機の場合

(1) キャッチ 着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。



着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「最近かかってきた相手にかける　（着信履歴）」
⇒ 52 ページ「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

着信履歴を印刷する（親機のみ）

(1) 記録紙をセットする

(2) 【メニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

(3) モノクロ スタート を押す

◆着信履歴が印刷されます。

(4) 停止／終了 を押す

着信履歴を削除する（親機）

(1) 再ダイヤル/履歴 を押す

(2) 【着信履歴】を押す

◆最新の着信履歴が表示されます。

(3) 削除したい着信履歴を選ぶ

(4) 【設定】を押す

(5) 【消去】を押す

◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(6) 【はい】を押す

◆指定した着信履歴を削除し、一つ前の（より古い）着信履歴が繰り上がって表示されます。

(7) 停止／終了 を押す

※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

履歴を削除する（子機）

1件のみ削除する場合

(1) 機能確定 を押し、で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能確定 を押す

(2) で削除したい履歴を選び、機能確定 を押す

(3) で「1ケン　ショウキョ」を選び、機能確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) 切 を押す

◆操作を終了します。

すべての履歴を削除する場合

(1) 機能確定 を押し、で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能確定 を押す

(2) 機能確定 を押す

(3) で「ゼンケン　ショウキョ」を選び、機能確定 を押す

(4) 1ア を押す

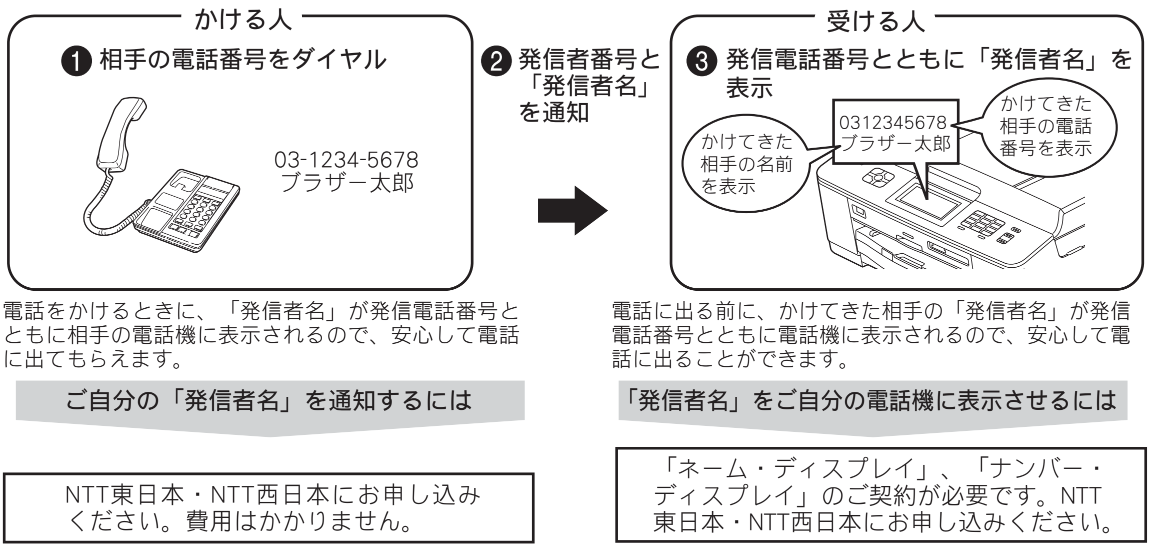
◆子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

※子機で削除した履歴は親機には反映されません。

ネーム・ディスプレイサービスを利用する

ネーム・ディスプレイは NTT が行っているサービスです。本製品の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が画面に表示されます。サービスの詳細については NTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。
⇒ 20 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する（MFC-J825N のみ）」
⇒ 21 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）」

- （MFC-J955DN/DWN をお使いのかたへ）子機は対応していません。
- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約できません。
- お客様がご利用されている電話会社が NTT 東日本、NTT 西日本以外の場合は、ネーム・ディスプレイサービスを契約できません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- IP 電話（050 番号）への着信には「発信者名」を表示させることはできません。



● 提供地域
全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域）
※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。

● 発信者名を表示する通話
NTT 東日本および NTT 西日本の加入電話回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。

● 表示される文字
10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● 料金
月額使用料：住宅用、事務用とも 105 円（INS ネット 1500 については 1,050 円）
別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2011 年 4 月 1 日現在）
- 月額使用料
  加入電話、ライトプラン：420 円（住宅用）、1,260 円（事務用）
  INS ネット 64、INS ネット 64 ライト：630 円（住宅用）、1,890 円（事務用）
  INS ネット 1500：18,900 円
- 工事料：2,100 円

お申し込み・お問い合わせは
局番なしの「116：無料」
受付時間 9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する（MFC-J955DN/DWN のみ）

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。
サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、【なし】に設定されています。

確認

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」（⇒ユーザーズガイド基本編「キャッチホンサービスを利用する」）と、「ナンバー・ディスプレイサービス」（⇒ 18 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」）の両方を、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。（有料）
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をすると、キャッチディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- 子機のキャッチディスプレイの表示は、約 10 秒です。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【あり】を押す

3  **を押す**

4 【キャッチディスプレイ】を押す

5 【あり】または【なし】を選ぶ

- 【あり】：
  キャッチホン・ディスプレイが設定されます。
- 【なし】：
  キャッチホン・ディスプレイは設定されません。

6 

を押して設定を終了する

第３章

ファクス（MFC モデルのみ）

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
RSS
付録

ファクスの便利な送りかた

応用

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

確認

■ ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 18 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

MFC-J825N は 履歴 、MFC-J955DN/DWN は 再ダイヤル/履歴 を押しても履歴を表示できます。

3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

4 ファクスを送る相手先を選ぶ

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は モノクロ スタート を、カラーで送る場合は スタート カラー を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2、3 の操作を行う
(2) 削除する相手先を選ぶ
(3) 【設定】を押す
(4) 【消去】を押す
◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
(5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。
(6) 停止/終了 を押す

※MFC-J955DN/DWN をお使いのかたへ
親機で削除した履歴は子機には反映されません。

相手先の受信音を確認してから送る

[手動送信]

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

確認

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 オンフック を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、モノクロスタート または スタートカラー を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。⇒手順 5 へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) 【送信中】と表示されたら 停止/終了 を押す

◆【停止しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

話をしてから送る（MFC-J955DN/DWN のみ）

［手動送信］

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

確認

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 相手先に電話をかける

⇒ユーザーズガイド 基本編「電話をかける」

2 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクシミリのスタートボタンを押してもらう

相手先のファクスが応答すると「ピー」という音が聞こえます。

3 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

4 モノクロスタート または スタートカラー を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。⇒手順 5 へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

6 受話器を受話器台に戻す

送るのをやめるときは

(1) 停止 / 終了 を押す

◆【停止しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

内容を確認してからファクスを送る

［みてから送信］

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「変更した設定を保持する」

確認

- みてから送信を行うときは、【リアルタイム送信】と【ポーリング受信】を【しない】に設定してください。
  ⇒ 37 ページ「原稿をすぐに送る」
  ⇒ 41 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
- みてから送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

確認

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

3 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

4 【便利なファクス設定】、【みてから送信】を順に押す

キーが表示されていないときは、
【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、
画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

6 ⮌ を押す

7 モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、画面にこれから送るファクスの内容が表示されます。
⇒手順 10 へ

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、読み込みが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
2 枚目の原稿がある場合⇒手順 8 へ
これで送信する場合⇒手順 9 へ

8 【はい】を押し、2 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

9 すべての読み込みを終えたら【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

⑩ 画面で、ファクスの内容を確認する

【メニュー】を押すと、以下のボタンが表示されます。

ボタン	操作内容
【▼】/【▲】	縦方向にスクロールします。
【◀】/【▶】	横方向にスクロールします。
	拡大 / 縮小表示します。
	前のページ/次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。

A）ファクスを送る場合

⑪ を押す

ファクスが送られます。

B）ファクス送信を中止する場合

⑫ を押す

画面に【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

⑬【はい】を押す

送信が中止されます。

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

確認

- タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。(カラーでの送信はできません。)
- タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【便利なファクス設定】、【タイマー送信】を順に押す

キーが表示されていないときは、

【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

4 【する】を押す

送信時刻を入力する画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ

送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、次の原稿をセットして モノクロスタート を押す

送りたい原稿について、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または モノクロスタート を押して設定を終了する

読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

> 相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。
>
> タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

同じ相手への原稿をまとめて送る

[とりまとめ送信]

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

確認

- とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1. **ファクス を押す**

2. **【便利なファクス設定】、【とりまとめ送信】を順に押す**

   キーが表示されていないときは、
   【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、
   画面をスクロールさせます。

3. **【する】を押す**

4. **停止/終了 を押して設定を終了する**

原稿をすぐに送る

[リアルタイム送信]

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。

メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。

ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。

⇒ユーザーズガイド 基本編「変更した設定を保持する」

確認

- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【便利なファクス設定】、【リアルタイム送信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

4 【する】を押す

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

5 ⮌ を押す

6 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは スタート カラー を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

> 本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

相手の操作で原稿を送る

[ポーリング送信]

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクシミリはその原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

> 機密ポーリング送信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

確認

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 [ファクス] を押す

3 【便利なファクス設定】、【ポーリング送信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

4 【標準】または【機密】を選ぶ

5 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

6 [モノクロスタート] を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、次の原稿をセットして [モノクロスタート] を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または [モノクロスタート] を押す

原稿を読み取り、メモリーに蓄積します。

> ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。
>
> ポーリング送信を解除したいときは、MFC-J825N は【メニュー】【ファクス】【通信待ち一覧】、MFC-J955DN/DWN は【メニュー】【ファクス / 電話】【通信待ち一覧】を押し、解除したいファクスを選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「送信待ちファクスを確認・解除する」

海外へ送る

［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 （ファクス）を押す

3 【便利なファクス設定】、【海外送信モード】を順に押す

キーが表示されていないときは、
【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

4 【する】を押す

5 （戻る）を押す

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

6 相手先のファクス番号をダイヤルする

7 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

ADF に原稿をセットしたときは、

（モノクロスタート）を押した場合：原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

（カラースタート）を押した場合：相手につながってから原稿の読み取りが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、

（モノクロスタート）を押した場合：画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

（カラースタート）を押した場合：画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します　複数枚送信のときは［いいえ］を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。
カラーで送る場合⇒手順 9 へ
モノクロで送る場合⇒【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして（モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 【はい（カラー送信）】を押す

ファクスが送られます。

10 【いいえ】または（カラースタート）または（モノクロスタート）を押す

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

［自動縮小］

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

- 【する】：
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

本製品の操作で相手の原稿を受ける

［ポーリング受信］

本製品から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

機密ポーリング受信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

確認

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 ファクス を押す

2 【便利なファクス設定】、【ポーリング受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、
【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、
画面をスクロールさせます。

3 設定を選ぶ

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

4 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

5 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート を押す

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

ファクスを受信します。

本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に ＊ を入力してください。

タイマーポーリング受信をキャンセルするには、MFC-J825N は【メニュー】【ファクス】【通信待ち一覧】、MFC-J955DN/DWN は【メニュー】【ファクス / 電話】【通信待ち一覧】を押し、キャンセルしたい設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクシミリにセットされた原稿を受けることができます。

1 **ファクス を押す**

2 **【便利なファクス設定】、【ポーリング受信】を順に押す**

キーが表示されていないときは、
【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、
画面をスクロールさせます。

3 **設定を選ぶ**

- 【標準】:
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。⇒手順 5 へ
- 【機密】:
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】:
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】:
  ポーリング受信を行いません。

4 **【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、【OK】を押す**

【タイマー】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、【OK】を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

5 **【便利なファクス設定】、【同報送信】を順に押す**

6 **【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ**

7 **【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、【OK】を押す**

【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び【OK】を押す

> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。⇒ 54 ページ「グループダイヤルを登録する」
>
> ＊01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
>
> ＊01 あ のときは五十音順に、
>
> ＊01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

【番号追加】を選んだ場合⇒手順 8 へ
【電話帳検索】を選んだ場合⇒手順 9 へ

8 **手順 7 を繰り返し、2 件目以降の相手先を指定する**

9 **すべての相手先を選び終わったら、【OK】を押す**

10 **モノクロ スタート を押す**

ファクスを受信します。
すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

順次ポーリング受信をやめるときは

(1) ダイヤル中に 停止/終了 を押す

◆現在受信中のジョブ（相手先のファクス番号が表示されます。）をキャンセルするか、順次ポーリングをキャンセルするかを選択する画面が表示されます。

※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(2) 目的のボタンを押す

(3) 【はい】を押す

※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する（MFC-J825N のみ）

［リモート受信］

親切受信の設定が【しない】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【する】にします。（お買い上げ時は【しない】に設定されています。）また、リモート起動番号を変更することもできます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【リモート受信】を順に押す

キーが表示されていないときは【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

リモート起動番号が表示されます。

- リモート起動番号とは、本製品の外付け電話端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- リモート起動番号を変更するときは、ダイヤルボタンで下 2 桁を上書きします。
- リモート起動番号を変更するときは、1 桁目は「#」のままで、下 2 桁の数字部分を変更してください。3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

3 【OK】を押す

4 停止/終了 を押して設定を終了する

リモート受信の操作

1 着信音が鳴ったら本製品と接続している電話機の受話器をとる

2 本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、# 5 1 を押す

「#51」は、リモート起動番号です。

3 約 5 秒後に、受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。

確認

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により、使用できないことがあります。

ファクスを転送する

［ファクス転送］

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

確認

- 【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。
- 【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 【ファクス転送】は、【メモリ保持のみ】、【PC ファクス受信】、【電話呼び出し（MFC-J825N のみ）】と同時に設定できません。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【受信設定】、【メモリ受信】、【ファクス転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、【OK】を押す

> すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。
> 転送先のファクス番号を変更する場合は、【×】を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 4 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 3 へ

3 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

> 転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤルされます。
>
> ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

確認

- ■ カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- ■【PC ファクス受信】は、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】、【電話呼び出し（MFC-J825N のみ）】と同時に設定できません。
- ■【PC ファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。
- ■【みるだけ受信】を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

3 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

確認

- ■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

4 【OK】を押す

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 6 へ

「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 5 へ

5 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」
- 手順 5 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 手順 5 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

確認

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタート を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

4 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

出力間隔を変更する

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【レポート設定】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 印刷間隔を選ぶ

【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

A)【レポート出力しない /50 件ごと】を選んだ場合

(1) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

B)【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す

(2) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

C)【7 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す

(2) 曜日を選ぶ

(3) 

を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

> 通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

確認

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷する

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタート を押す

送信レポートが印刷されます。

4 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 設定を選ぶ

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン＋イメージ】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ＋イメージ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの 1 ページ目を印刷します。

リアルタイム送信（⇒ 37 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

カラーで送信した場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

確認

■ 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタートを押す

着信履歴リストが印刷されます。

4 印刷が終了したら、停止/終了を押す

第４章

電話帳（MFC モデルのみ）

電話帳

リモートセットアップ

電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 50 ページ「着信履歴リストを印刷する」

確認

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

最新の履歴が表示されます。

履歴は最新の 30 件が記録されています。

MFC-J825N は 履 歴 MFC-J955DN/DWN は 再ダイヤル/履歴 を押しても履歴を表示できます。

2 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

4 【設定】を押す

5 【電話帳に登録】を押す

名前の画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 番号が入力されていることを確認して、【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

9 画面に表示されているテンキーで、2 つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

10 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す

短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

11 登録内容を確認し、【OK】を押す

12 停止 / 終了 を押す

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

［グループ登録］

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ユーザーズガイド 基本編「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

確認

- ■ グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- ■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳リストを印刷する」

1 待ち受け画面の【電話帳】または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳 / 短縮】を押す

画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【電話帳 / 短縮設定】の順に押しても電話帳を表示できます。⇒手順 3 へ

2 【設定】を押す

3 【グループ登録】を押す

グループ名を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、【OK】を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

6 グループに登録する相手先を選ぶ

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。

*01 あ のときは五十音順に、

*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 登録する番号をすべて選んだら、【OK】を押す

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

9 停止 / 終了 を押す

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順❸で、【変更】を押す

(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ

(3) 【追加 / 消去】を押す

(4) 追加 / 削除する相手先を選び、【OK】を押す

追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

(5) 【OK】を押す

◆変更内容が反映されます。

(6) 停止 / 終了 を押す

グループダイヤルを削除するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順❸で、【消去】を押す

(2) 削除するグループダイヤルを選び、【OK】を押す

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

(4) 停止 / 終了 を押す

子機の電話帳を利用する（MFC-J955DN/DWN のみ）

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

確認

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。

1 機能/確定を押す

2 十字キーで「ハッシンリレキ」または「チャクシンリレキ」を選び、機能/確定を押す

3 十字キーで登録する番号を選び、機能/確定を押す

4 十字キーで「デンワチョウトウロク」を選び、機能/確定を押す

5 名前を入力し、機能/確定を押す

11 文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」－「子機」

登録したい番号が表示されます。

6 機能/確定を押す

電話番号が登録されます。

7 切を押す

発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、切を押す必要はありません。

子機の電話帳を親機へ転送する

1 電話帳（十字キー上）を押す

2 十字キーで親機に転送する相手先を選び、機能/確定を押す

3 十字キーで【テンソウ】を選び、機能/確定を押す

電話帳が転送されます。

4 切を押す

親機の登録名の最大文字数は 10 文字です。子機の登録名が 11 文字の場合、11 文字目の文字は消去されます。

例）子機の登録名：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻ

↓

親機の登録名：アイウエオカキクケコ

（「サ」は消去される）

親機のヨミガナは、子機の登録名 11 文字すべてが登録されます。

短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。

以下の場合は、電話帳を転送できません。

- 外線使用中
- 親子内線通話中、呼び出し中
- 親機の電源オフ中
- みるだけ受信閲覧中
- 親機で音声設定中
- 子機で【オヤキ　ショウチュウ】表示中
- 親機の電話帳が最大件数登録済みの場合
- 親機のメニュー操作中

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。

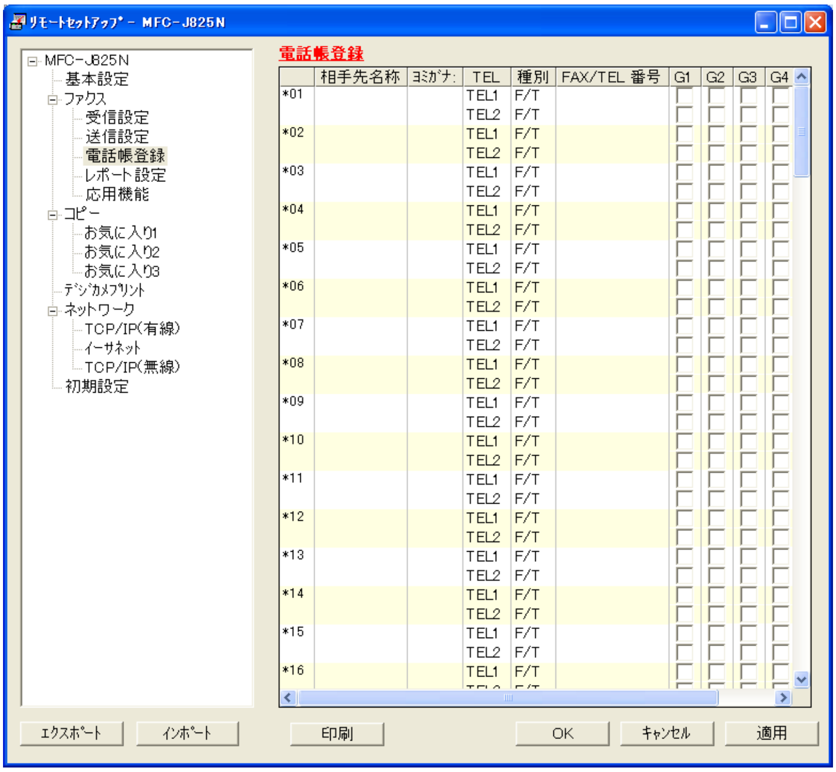
Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

リモートセットアップ画面例



確認

■ (MFC-J955DN/DWN をお使いのかたへ)
「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録 / 編集できるのは、親機の電話帳のみです。子機の電話帳には登録できません。

Memo

第 5 章

転送・リモコン機能（MFC モデルのみ）

リモコンアクセス

転送機能

外出先から本製品を操作する リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

確認

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】（または【ファクス / 電話】）、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

「＊」の左側の 3 桁に、【0】～【9】、【＊】、【#】からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

暗証番号「123」の場合は、【1】、【2】、【3】を押し、【OK】を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 1 の操作を行う

(2) 【クリア】を押す

(3) 【OK】を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) 停止 / 終了 を押す

外出先から本製品を操作する

確認

■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 60 ページ「暗証番号を設定する」

■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作（MFC-J825N）

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されているファクシミリ、またはトーン信号が送出できるファクシミリからダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
ファクスメッセージが記憶されていません。
その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 3 に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 62 ページ「リモコンコード（MFC-J825N）」

例）外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

> 「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「リモコンアクセスカード」

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。

正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード（MFC-J825N）

外出先のファクシミリから、以下のコード番号を入力して、本製品を操作できます。

コード	操作内容	
設定		
951	メモリー受信を【オフ】にする（電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます） ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する（転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません）	
954	ファクス転送先を設定する	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります
956	メモリー受信を有効にする（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
受信モード変更		
981	外付け留守電モードにする	
982	自動切換えモードにする	
983	ファクス専用モードにする	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【みるだけ受信】を【する】に設定するか、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「みるだけ受信を設定する」
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスをメモリーで受信する」

リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードを選ぶ」

- ファクス専用モードの場合
  メモリー受信を設定しているとき：
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
  メモリー受信を設定していないとき：
  ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- 自動切換えモードの場合
  応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
- 外付け留守電モードの場合
  本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。

※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先からの操作（MFC-J955DN/DWN）

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

在宅モードで呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2 「#」、「*」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾*を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
  ファクスメッセージが記憶されています。
- 「ポーポー」：
  音声メッセージが記憶されています。
- 「ポーポーポー」：
  ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

⇒ 64 ページ「リモコンコード（MFC-J955DN/DWN）」

例）録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード（MFC-J955DN/DWN）

外出先のファクシミリから、以下のコード番号を入力して、本製品を操作できます。

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
設定		
951	メモリー受信を【オフ】にする（留守録転送やファクス転送の設定も解除されます） ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する（転送先の番号が登録されていないときは設定できません）	
954	ファクス転送先を設定する	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	メモリー受信を有効にする（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【みるだけ受信】を【する】に設定するか、【メモリ受信】を【ファクス転送】または【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。

⇒ユーザーズガイド 基本編「みるだけ受信を設定する」
⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスをメモリーで受信する」

外出先に転送する

転送機能

ファクスが届いたことを電話で知らせる（MFC-J825N のみ）

［電話呼び出し］

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクシミリからリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 60 ページ「外出先からの操作（MFC-J825N）」

確認

- 【電話呼び出し】は、【PC ファクス受信】、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
- 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- 【電話呼び出し】を設定をしても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープはかかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【電話呼び出し】を押す

すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。
電話番号を変更する場合は【×】を押していったん消去し、入力し直します。
⇒手順 3 へ
変更しない場合は【OK】を押します。
⇒手順 4 へ

3 画面に表示されているテンキーで呼び出し先の電話番号を入力し、【OK】を押す

4 停止/終了 を押して設定を終了する

電話呼び出しを解除する

(1) 「ファクスが届いたことを電話で知らせる」の手順 2 で【オフ】を選ぶ

(2) 停止/終了 を押す

◆電話呼び出しが解除されます。

留守録転送を設定する（MFC-J955DN/DWN のみ）

［留守録転送］

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送できます。

確認

- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。
⇒ 60 ページ「暗証番号を設定する」
- 通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- 転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【留守録転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

暗証番号が設定されていないときは、【暗証番号を登録してください】と表示されます。停止 / 終了 を押していったん留守録転送設定を中止し、暗証番号を設定してください。
⇒ 60 ページ「暗証番号を設定する」

転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。
電話番号を変更する場合は、【×】を押します。⇒手順 3 へ
電話番号を変更しない場合は、【OK】を押します。⇒手順 4 へ

3 画面に表示されているテンキーで転送先の電話番号を入力し、【OK】を押す

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

転送先で確認する

(1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力する

(2) メッセージを聞く

◆2 件以上あるときは連続して再生されます。

◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

(1) 「留守録転送を設定する」の手順 2 で【しない】を押す

(2) 停止 / 終了 を押す

◆留守録転送が解除されます。

第 6 章

コピー

応用

いろいろなコピー

応用

スタック / ソートコピーする

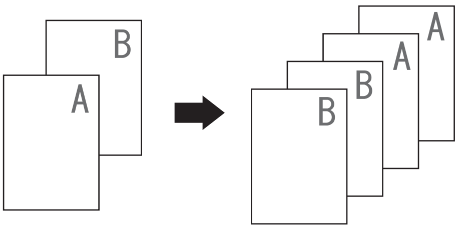
［スタック / ソート］

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

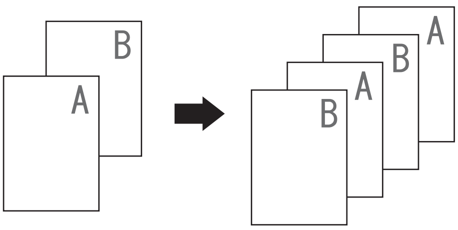
確認

- ■【ソートコピー】は、【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト　コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

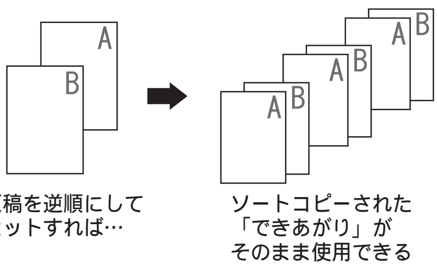
- スタックコピー
  ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
  一部ごとにまとめて排出します。



コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。



原稿を逆順にして
セットすれば…

ソートコピーされた
「できあがり」が
そのまま使用できる

1 **または【コピー】を押す**

2 **ADF に原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF に原稿をセットする」

3 **【スタック / ソート】を押す**

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

4 **【スタックコピー】または【ソートコピー】を押す**

5 **複数部コピーするときは、部数を入力する**

画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

6 **モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは スタートカラー を押す**

- 原稿の読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「画面にメッセージが表示されたときは」
- メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。
- スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

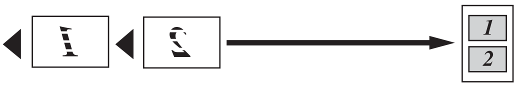
［レイアウトコピー］

複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1（タテ長）*1



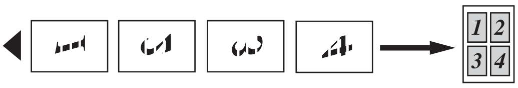
- 2in1（ヨコ長）*1



- 2in1（ID カード）*1



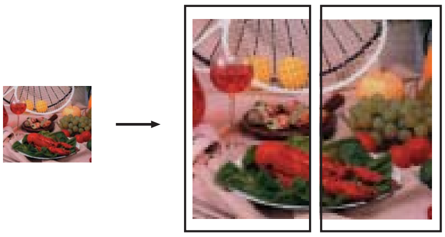
- 4in1（タテ長）*1



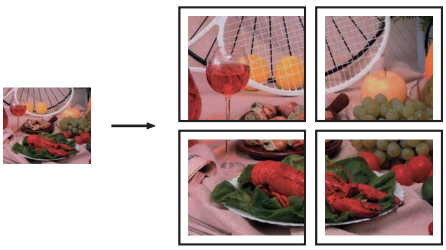
- 4in1（ヨコ長）*1



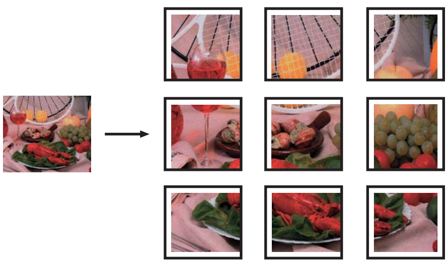
- ポスター（2 x 1）*2



- ポスター（2 x 2）*2



- ポスター（3 x 3）*2



*1 カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。
*2 複数部数の指定はできません。

2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）/4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーします。

確認

- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定することはできません。

1 （コピー）または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

4 レイアウトの種類を選ぶ

【2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）】から選びます。

> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

❺ 複数部コピーするときは、部数を入力する

※この設定は、モノクロコピーのみ有効です。

> 画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

❻ モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] 押す

ADF に原稿をセットしたときは、コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

原稿が 1 枚の場合⇒手順 ❽ へ

原稿が複数枚の場合⇒手順 ❼ へ

❼ 【はい】を押し、次の原稿をセットして [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す

原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

❽ すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する

2in1（ID カード）

身分証明書など、カードサイズの原稿の両面を、1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーします。

確認

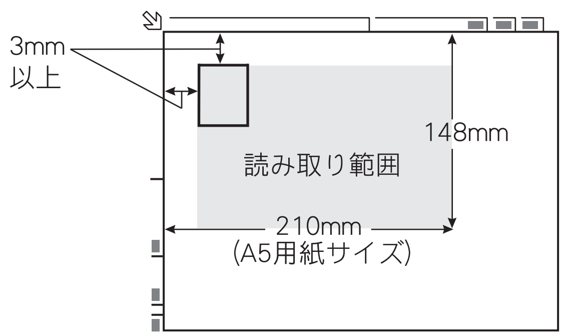
- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定することはできません。

❶ [コピー] または【コピー】を押す

❷ 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



❸ 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

❹ 【2in1（ID カード）】を押す

5 複数部コピーするときは、部数を入力する

※この設定は、モノクロコピーのみ有効です。

> 画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

6 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは 押す

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

原稿が 1 枚の場合⇒【いいえ】を押すと、記録紙が排出されます。

原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、原稿をうら返してセットして または を押す

ポスター（2 x 1）/ ポスター（2 x 2）/ ポスター（3 x 3）

原稿をポスターサイズに拡大し、複数の A4 記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーは、複数部数の指定はできません。

確認

- 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 【拡大 / 縮小】、【ソートコピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定することはできません。
- あらかじめ、分割される枚数以上の記録紙をセットしてください。

1 または【コピー】を押す

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

4 レイアウトの種類を選ぶ

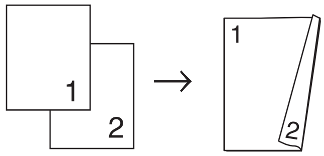
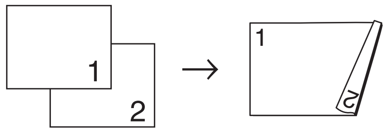
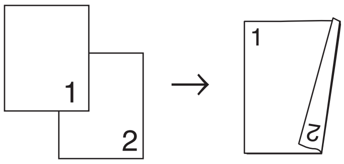
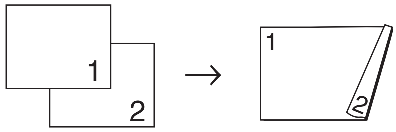
【ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】から選びます。

5 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す

両面コピーする

[両面コピー]

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。原稿は ADF から送ることをお勧めします。原稿が冊子などの場合は原稿台ガラスを使用してください。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ原稿		
短辺とじ原稿		

確認

■ 両面コピーで使用できる記録紙は、A4、A5、B5 サイズの普通紙のみです。
■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト　コピー】の【2in1（ID カード）／ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

1 または【コピー】を押す

2 【両面コピー】、【オン】を順に押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

3 原稿のとじ方を選ぶ

【印刷の向き：縦 長辺とじ／印刷の向き：横 長辺とじ／印刷の向き：縦 短辺とじ／印刷の向き：横 短辺とじ】から選びます。

4 メッセージを確認し、原稿をセットする

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

5 【×】を押して、画面を閉じる

確認

■ ADF を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください（ただし 1 回にセットできるのは 15 枚までです）。2 枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

6 複数部コピーするときは、部数を入力する

画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「複数部コピーする」

7 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート】、【ソートコピー】を順に押す

8 モノクロでコピーするときは［モノクロスタート］を、カラーでコピーするときは［カラースタート］を押す

ADF に原稿をセットした場合：
操作は終了です。読み取りが開始されます。原稿 1 枚目を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、2 枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。3 枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは記録紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合：
画面に【次のページをセットしてスキャンボタンを押してください　全てのページが終わったら完了ボタンを押してください／スキャン／完了】と表示されます。
⇒手順 9 へ

9 【スキャン】を押して次の原稿をセットし、［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

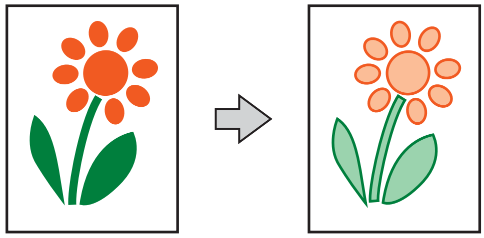
3 枚目以降の原稿がある場合、手順 9 を繰り返し、すべての原稿を読み取ったら【完了】を押してください。

両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しください。
手順 2 のあとで、【あんしん設定】を押して、【あんしん 1】または【あんしん 2】を選びます。
【あんしん 1】では、印刷速度を落とします。【あんしん 2】では、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります。

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



確認

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- 【レイアウト　コピー】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定することはできません。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 ［コピー］または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

画面上の【－】/【＋】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

4 【便利なコピー設定】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

5 【インク節約モード】を押す

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

裏写りを軽減してコピーする

[裏写り除去コピー]

コピー時の裏写りを軽減します。

確認

■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト　コピー】、【インク節約モード】、【ブックコピー】、【透かしコピー】と同時に設定することはできません。

「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 コピー または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

4 【便利なコピー設定】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

5 【裏写り除去コピー】を押す

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

ブックコピーする

[ブックコピー]

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。

確認

■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【ソートコピー】、【レイアウト　コピー】、【両面コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【透かしコピー】と同時に設定することはできません。

■ 原稿台ガラスに原稿をセットした場合にのみ有効です。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 または【コピー】を押す

2 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

4【便利なコピー設定】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

5【ブックコピー】を押す

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

コピーに文字や画像を重ねる

[透かしコピー]

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【COPY】【CONFIDENTIAL】【重要】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

確認

■【拡大 / 縮小】の【用紙に合わせる】、【レイアウト　コピー】、【インク節約モード】、【裏写り除去コピー】、【ブックコピー】と同時に設定することはできません。

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、? と表示されます。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

テンプレートを重ねてコピーする

1 または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

> 画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

4 【便利なコピー設定】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

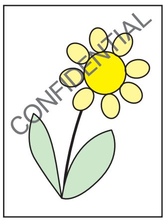
5 【透かしコピー】を押す

6 【テンプレートを使う】を押す

7 透かしの設定を行う

次の 6 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【テキスト】：
  【COPY ／ CONFIDENTIAL ／重要】から選びます。
- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。
  【全面】を選ぶと、紙面全体に文字が繰り返されます。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90° ／ -45° ／ 0° ／ +45° ／ +90° 】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】：
  【黒／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄】から選びます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：−45°
透過度：+2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [スタート カラー] を押す

メディアの画像を重ねてコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

確認

■ ステータスランプが点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

1 （コピー）または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

画面上の【−】/【+】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
⇒ユーザーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

4 【便利なコピー設定】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

5 【透かしコピー】を押す

6 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

7 本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ユーザーズガイド 基本編「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

8 ステータスランプが点灯してから、【メディア】を押す

確認

■ ステータスランプが点滅している間は、【メディア】を押さないでください。

9 画像を選ぶ

確認

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、? と表示されます。

10 透かしの設定を行う

次の 4 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。
  【全面】を選ぶと、紙面全体に選んだ画像が繰り返されます。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90°／-45°／ 0°／ +45°／ +90°】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは（モノクロ スタート）を、カラーでコピーするときは（スタート カラー）を押す

スキャンした画像を重ねてコピーする

1 **または【コピー】を押す**

2 **複数部コピーするときは、部数を入力する**

> 画面上の【－】/【＋】や部数表示を押して表示されるテンキーで部数を入力できます。また、MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「複数部コピーする」

3 **【便利なコピー設定】を押す**

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

4 **【透かしコピー】を押す**

5 **【スキャン / メディアの画像を使う】を押す**

6 **【スキャン】を押す**

7 **透かしに使用する原稿を原稿台ガラスにセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」



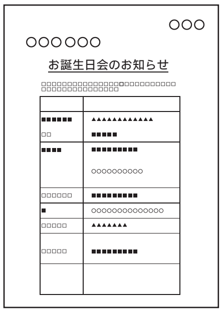
透かしに使用する原稿

8 **を押して原稿をスキャンする**

スキャンが始まります。

9 **スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする**

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

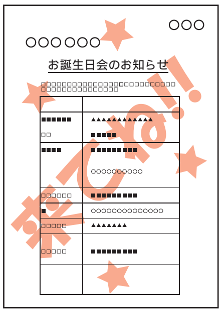


コピーする原稿

10 **透かしの透過度を選び、【OK】を押す**

【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 **モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す**



仕上がりイメージ

> スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

Memo

第7章

デジカメプリント

写真をプリントする

デジカメプリント

インデックスシートをプリントする

［インデックスプリント］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

確認

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、［デジカメプリント］を押してください。
- DCP モデルの場合は、［ホーム］または［停止 / 終了］を押して、待ち受け画面に戻り、【デジカメプリント】を押してください。

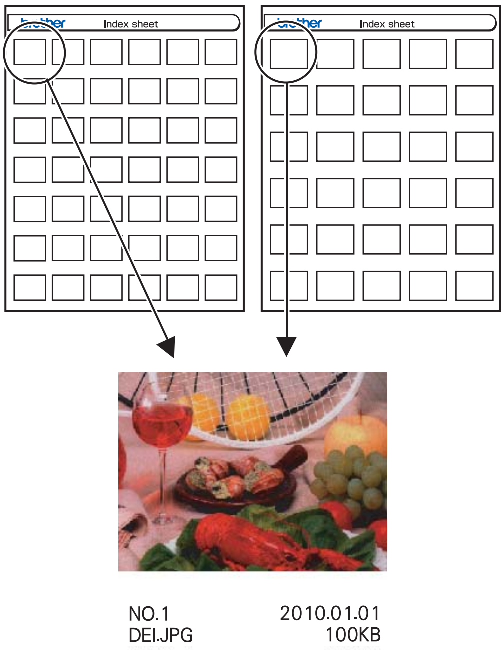
デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】、【インデックスシート】の順に押す

3 インデックスのタイプを選ぶ

【速い /1 行 6 個印刷】【きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。

【速い / 1 行 6 個印刷】　【きれい / 1 行 5 個印刷】



記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

4 ［スタート カラー］を押す

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントされるのは、JPEG（.JPG）、および、MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。

番号を指定してプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、［デジカメプリント］を押してください。
- DCP モデルの場合は、 または［停止 / 終了］を押して、待ち受け画面に戻り、【デジカメプリント】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】、【番号指定プリント】の順に押す

3 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像の番号を入力し、【OK】を押す

例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき

「1-5」と入力する

例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき

「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

4 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

5 【−】/【+】でプリント枚数を設定する

> プリント枚数表示の［1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

6 ［モノクロ スタート］または［スタート カラー］を押す

画像がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

［こだわりプリント］

本製品には、下記 10 種の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真などを自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 * の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を、明るく補正してプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正＆赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

* 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

「こだわりプリント」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている画像の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編 「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、デジカメプリントを押してください。
- DCP モデルの場合は、または停止／終了を押して、待ち受け画面に戻り、【デジカメプリント】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

> を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、【OK】を押す

5 目的に合った補正メニューを選ぶ

目的のメニューが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

補正後の画像が表示されます。

> を押すと拡大表示されます。このとき、【▼】/【▲】/【◀】/【▶】でスクロールできます。を押すと、元に戻ります。
>
> 「肌色明るさ補正」「色あざやか補正」「夜景補正」「逆光補正」は、【◀】/【▶】で補正量を 3 段階に調節できます。
>
> 赤目補正の場合は、補正できると顔が赤枠で囲まれます。補正できなかったときは、【赤目を検出できません】と表示されます。【もう一度やり直す】を押すと、再度、赤目検出を試みます。それでも【赤目を検出できません】と表示される場合は、それ以上の補正はできません。

6 【OK】を押す

7 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

9 モノクロスタートまたはカラースタートを押す

画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。
ただし、一度にプリント設定できるのは 100 枚までです。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、（デジカメプリント）を押してください。
- DCP モデルの場合は、（ホーム）または（停止／終了）を押して、待ち受け画面に戻り、【デジカメプリント】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

3 （アイコン）を押す

【すべての写真枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

100 枚目までの写真のプリント枚数がすべて 1 枚に設定されます。

> 個別にプリント枚数を増減させることもできます。この場合は手順 4 のあとで、対象の画像を選び、表示される【−】/【+】で枚数を設定して【OK】を押します。

5 【OK】を押す

6 画面で設定を確認する



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」
>
> （アイコン）を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

選択されたすべての画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

［スライドショー］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい画像が表示されたら、途中でもプリント設定に進めます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、（デジカメプリント）を押してください。
- DCP モデルの場合は、（ホーム）または（停止 / 終了）を押して、待ち受け画面に戻り、【デジカメプリント】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を押す

3 （スライドショー）を押す

スライドショーが始まります。

4 終了するには（停止 / 終了）を押す

スライドショーが終了します。

スライドショーの途中でプリントする

1 プリントしたい画像が表示されている間に【OK】を押す

- かんたんプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 4 へ
- こだわりプリントからスライドショーを開始した場合は、お好み補正または、トリミングを行います⇒手順 2 へ

2 【お好み色補正】または【トリミング】、または両方を押した上で【OK】を押す

【お好み色補正】または【トリミング】で写真を補正しない場合はプリント設定に進めません。（戻る）を押して、スライドショーを終了してください。

3 選んだ画像を補正する

- お好み色補正
  ⇒ 84 ページ「色や明るさを補正してプリントする」手順 5、6
- トリミング
  ⇒ 88 ページ「画像の一部をプリントする」手順 5 ～ 7

4 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の（1）を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

5 【OK】を押す

6 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

かんたんプリントからスライドショーを開始した場合は、上記画面の を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 または を押す

選択した画像がプリントされます。

画像の一部をプリントする

［トリミング］

画像の中から必要な部分だけを切り出してプリントできます。画像を回転させることもできます。

画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、 を押してください。
- DCP モデルの場合は、 または を押して、待ち受け画面に戻り、【デジカメプリント】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 トリミングしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

4 【トリミング】を押し、【OK】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

5 枠の位置とサイズを選ぶ

【▼】/【▲】/【◀】/【▶】で移動します。
【+】で拡大、【−】で縮小します。
 を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6 【OK】を押す

7 トリミングを確認し、【OK】を押す

8 【－】/【＋】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

9 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

10 モノクロスタート または スタートカラー を押す

トリミングした画像がプリントされます。

Memo

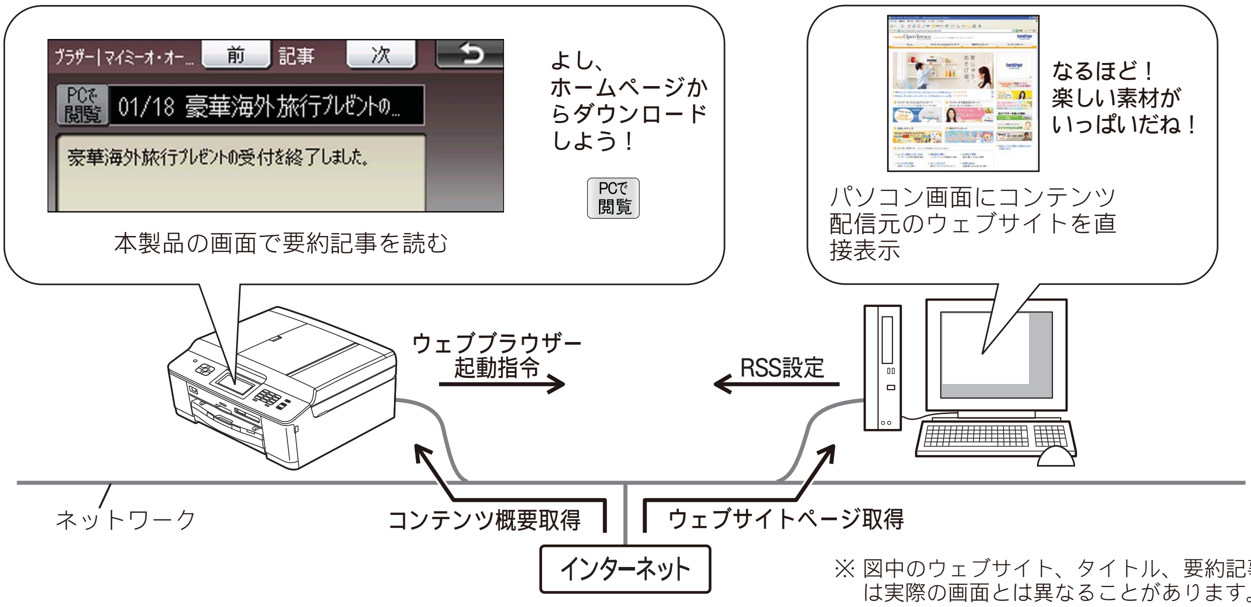
第８章

RSS

RSS 機能とは

RSS の準備

RSS 機能とは、インターネット上のウェブサイト、特にニュースやブログなどから発信されるコンテンツの概要などを本製品の画面上に表示することができる機能です。指定された更新間隔で自動的に新しい情報を取得して表示します。
気になる情報を本製品の画面上で選択すると、ネットワーク上にあるパソコン（Windows®）でコンテンツ配信元のウェブサイトを表示し、更に詳しい情報を閲覧することもできます。



※ 図中のウェブサイト、タイトル、要約記事は実際の画面とは異なることがあります。

RSS 関連用語

本書内で使われているRSSに関連する用語を紹介します。

● RSS

ニュースやブログなど各種のウェブサイトの更新情報を簡単にまとめ、配信するための文書フォーマットの総称です。
本製品で対応している RSS 形式は RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 です。

● フィード

ウェブサイトのコンテンツの概要をRSS/Atomなどの文書形式で配信することです。

● プロキシ

ユーザーのコンピューターとインターネットとの間に設置され、直接インターネットに接続できないユーザーのコンピューターに代わって「代理」としてインターネットとの接続を行うコンピューターのことです。

各種ウェブサイトにおける RSS 配信について

お客様がご覧になっているすべてのウェブサイトがRSS 配信を行っているわけではありません。各ウェブサイト上で、「RSS について」というような案内がないかを、また、RSS 配信を行っているウェブサイトでは下記のような表示をしていることも多いので、これらの表示なども探してみてください。本製品には、各ウェブサイト上で紹介されている RSS サイトの URL（形式例：http://****************.xml）を登録します。

RSS配信を行っていることを示すマークの例

RSS　XML

フィードアイコン（ ）の使用に関しては、Mozilla Foundationによって制定されたフィードアイコンガイドラインに準拠しています。

ネットワークの接続を確認する

RSS 機能を使用するためには、本製品がネットワークに接続されている必要があります。ネットワークは有線、無線のどちらにも対応しています。あらかじめネットワークの接続および設定を行ってください。
⇒かんたん設置ガイド

確認

- RSS 機能を使用するためには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要です。また、プロバイダーとの契約が、従量課金制または定額従量課金制である場合は、RSS の接続時間に応じて（定額従量課金制の場合は決められた時間を越えた場合に）通信料が発生します。
- インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、本製品にもプロキシサーバーの情報を設定する必要があります。
⇒ 97 ページ「プロキシを設定する」
- RSS 機能は USB 接続では使用できません。必ず、有線または無線ネットワークに本製品を接続してください。
- 本製品で RSS のコンテンツを選んで【PC で閲覧】を押すとパソコンでウェブサイトを表示しますが、これは本製品とパソコンをともにネットワークに接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動している場合にのみ可能です。
「RSS 連携ユーティリティ」のインストールについては、かんたん設置ガイドをご覧ください。
- Macintosh をお使いの方は、本製品の画面では RSS を表示できますが、【PC で閲覧】で Macintosh にウェブサイトを表示させることはできません。また、本製品付属のソフトウェア「RSS 連携ユーティリティ」は Macintosh に対応していません。

RSS の設定をする

RSS を設定するためには、次の 2 とおりの方法があります。
- 本製品の RSS メニューから設定する
- ネットワーク上のパソコンで「RSS 連携ユーティリティ」を使用して設定する（Windows® のみ）

－ RSS の設定を本製品とパソコンで行う場合の比較－

設定項目	本製品	RSS 連携ユーティリティ (Windows® のみ)
サイトの URL 登録	○	○
登録サイトの一覧表示	○	○
登録サイトの変更	○	○
登録サイトの削除	○	○
登録サイトのタイトル変更	×	○
登録サイトの表示順変更	×	○
登録希望サイトの URL の取り込み、リスト作成	×	○
RSS のオン / オフ設定	○	○
プロキシ設定	○	○
更新間隔の設定	○	○
RSS 最新情報の手動更新	○	×
RSS スクロール速度の変更	○	×
ウェブサイトを閲覧するパソコンの選択および固定	○	×

お使いのパソコンが Windows® であれば、RSS に関する設定は「RSS 連携ユーティリティ」から行うことをお勧めします。パソコン上ではマウス操作のドラック＆ドロップや、キーボードによる入力が行えるため、URL の登録などは本製品で 1 文字ずつ入力する場合に比べて非常に簡単なためです。また、いくつかの設定がひとつの画面で一度にできます。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「RSS 連携ユーティリティで RSS 機能の設定をする」

RSS サイトの URL を登録する

本製品から登録する場合の手順です。
RSS を本製品の画面に表示させるためには、情報を取得したい RSS サイトの URL を登録する必要があります。

- お買い上げ時は、弊社サイト「マイミーオ・オープンテラス」が登録されています。「マイミーオ・オープンテラス」は、マイミーオの無料素材をダウンロードしたり、お楽しみコンテンツが見られるスペシャルサイトです。年賀状などのカード素材やコンテスト・プレゼント企画などの情報が定期的に更新されます。
- 登録サイトは最大 8 箇所まで設定できます。
- RSS サイトタイトルは、「サイト 2」などと表示され、本製品から登録 / 変更することはできません。サイトタイトルを変更したい場合は、「RSS 連携ユーティリティ」を使用します。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「RSS 連携ユーティリティで RSS 機能を設定する」

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【登録サイト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

登録されている RSS サイトの一覧画面が表示されます。

2 【メニュー】を押す

3 【URL 登録 / 変更】を押す

4 「未登録」と表示されている緑のバーを押す

4 項目目以降を選ぶ場合は、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

5 画面に表示されているキーボードで URL を入力し、【OK】を押す

- 「http://」よりうしろの部分を入力してください。
- 「http://」を含めて最大 160 文字まで入力できます。
- 国際化ドメイン名（日本語など）には対応していません。

⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」

RSS サイトが登録されます。
- 登録を続ける場合⇒手順 4 へ
- 登録を終了する場合⇒手順 6 へ

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS サイトの URL を変更する

登録されている RSS サイトの URL を変更することができます。

- RSS の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、【メニュー】、【RSS】、【RSS 設定リセット】の順に押します。
- 【メニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【RSS 設定リセット】を押すことでも、RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「RSS 設定を元に戻す」

1 「RSS サイトの URL を登録する」の手順 1 ～ 3 を行う

2 変更したい URL の緑のバーを押す

4 項目目以降を選ぶ場合は、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているキーボードで URL 変更し、【OK】を押す

⇒ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

登録している RSS サイトを消去する

登録されているRSSサイトを消去することができます。

1 「RSS サイトの URL を登録する」の手順 1 ～ 2 を行う

2 【URL 消去】を押す

3 消去したい RSS サイトを押す

4 項目目以降を選ぶ場合は、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。
複数の RSS サイトを消去したい場合は、続けて RSS サイトを押します。

チェックボックスにチェックマークが付きます。

4 【OK】を押す

【URL を消去しますか ?/ はい / いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

手順 3 でチェックマークが付いた RSS サイトが消去されます。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS の情報取得間隔を設定する

［更新間隔］

RSS の情報取得間隔を設定することができます。設定された間隔で本製品が自動的にインターネットに接続します。

> お買い上げ時は【2 時間】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【更新間隔】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 希望の更新間隔を選ぶ

【2 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間】から選びます。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

プロキシを設定する

インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、プロキシ設定を行います。

プロキシ情報を調べる

お使いのパソコンなどですでにインターネットを使用している場合は、インターネット接続環境がプロキシサーバー経由であるかどうかを、以下の方法で調べることができます。
ユーザー認証やパスワードを必要とする場合など、以下の方法で調べてもわからない場合は、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者またはネットワーク管理者に問い合わせてください。

● Windows® の場合

1 本製品を接続した同じネットワーク上にあるパソコンでウェブブラウザーを起動する

2 ツールバーのメニューから、[ツール] − [インターネットオプション] の順にクリックする

3 [接続] タブを選び、[LAN の設定] をクリックする

4 [プロキシ　サーバー] の [LAN にプロキシ　サーバーを使用する] にチェックがあるかどうかを確認する

チェックが付いていれば、プロキシが設定されています。アドレスとポート名を書き留めてください。
チェックが付いていなければ、プロキシは設定されていません。本製品のプロキシ設定も不要です。

● Macintosh の場合

1 本製品を接続した同じネットワーク上にある Macintosh を起動する

2 アップルメニューから「システム環境設定」を開く

Mac OS X 10.4 の場合

3 [ネットワーク]、[設定]、[プロキシ] の順にクリックする

4 [設定するプロキシサーバーを選択：] のいずれかの項目にチェックがついているかどうかを確認する

Mac OS X 10.5 − 10.6 の場合

3 [ネットワーク]、[詳細]、[プロキシ] の順にクリックする

4 [構成するプロトコルを選択 :] のいずれかの項目にチェックがついているかどうかを確認する

チェックが付いていれば、プロキシが設定されています。アドレスとポート名を書き留めてください。
チェックが付いていなければ、プロキシは設定されていません。本製品のプロキシ設定も不要です。

「RSS 連携ユーティリティ」（Windows® にのみ対応）には、パソコンのインターネットオプションに設定されているプロキシ情報（アドレス、ポート名）をワンクリックで取り込む機能があります。

プロキシ設定する

1 **画面上の【メニュー】、【ネットワーク】、【Web 接続設定】、【プロキシ設定】、【アドレス】を順に押す**

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 **画面に表示されているキーボードでアドレスを入力し、【OK】を押す**

80 文字以内で入力します。

3 **【ポート】を押す**

4 **画面に表示されているキーボードでポート番号を入力し、【OK】を押す**

> お買い上げ時は【8080】に設定されています。

5 **【ユーザ名】を押す**

プロキシ使用時にユーザー認証が必要な場合は、ここでユーザー名と手順 7、8 でパスワードを入力します。

6 **画面に表示されているキーボードでユーザー名を入力し、【OK】を押す**

プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を 32 文字以内で入力します。

7 **【パスワード】を押す**

8 **画面に表示されているキーボードでパスワードを入力し、【OK】を押す**

プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを 32 文字以内で入力します。

9 **【プロキシ経由接続】を押す**

10 **【オン】を押す**

> お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

11 

を押して設定を終了する

RSS を表示する

本製品に RSS を表示させるには RSS 設定を【オン】にする必要があります。

お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【RSS】、【オン】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

インターネットの使用に関する承諾許可の画面が表示されます。

確認

■ このあと【はい】を選ぶと、インターネットに接続します。プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒ 93 ページ「ネットワークの接続を確認する」

2 【はい】を押す

RSS機能が有効になります。インターネットに接続し、最新情報を取得します。その後はあらかじめ設定した更新間隔（初期値は 2 時間ごと）に従って、情報を更新します。
電話回線を利用するダイヤルアップ接続の場合、モデムやターミナルアダプターで切断（タイムアウト）が設定されていない限り、いったんインターネットに接続すると最新情報の取得後も、回線は切断されません。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS が待ち受け画面に表示されます。

RSS を閲覧する

RSS 閲覧

待ち受け画面の RSS 表示について

RSS は待ち受け画面の最上部に表示され、右から左へスクロールします。



※ 図中のRSSサイト、見出し、要約記事は架空のものです。

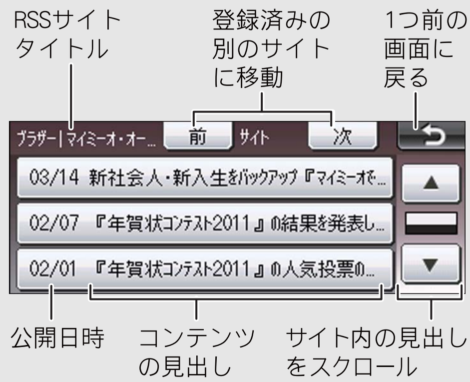
RSS コンテンツを表示する

待ち受け画面で流れているコンテンツの見出しを一覧表示させたり、それぞれの要約記事を本製品の画面で読むことができます。また、気になる記事は、RSS配信元のウェブサイトをネットワーク上のパソコンにワンタッチで表示させて、より詳しい内容を閲覧することもできます。

1 待ち受け画面の RSS 表示（1）を押す



RSS のコンテンツの見出し一覧が表示されます。

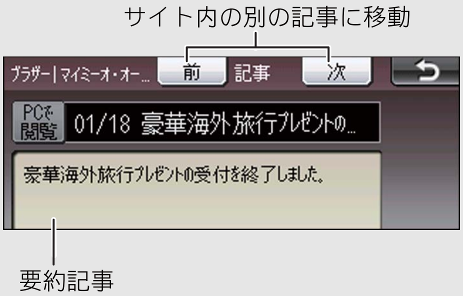


コンテンツの公開日時の新しいものから順に最大 10 件が表示されます。

❷ 表示された一覧の中から読みたいコンテンツの見出しを押す

要約記事が最大で 200 文字まで表示されます。コンテンツ配信元から要約記事が提供されていない場合、記事欄は空白です。

記事が 4 行以上ある場合は、スクロールボタンが表示されます。



- より詳しい内容をパソコンで見たい場合（Windows® のみ）⇒手順 ❸ へ
- 記事の閲覧を終了する場合
  ⇒ を押して、コンテンツ見出し一覧画面に戻ります。
- RSS の閲覧を終了する場合
  ⇒ 停止 / 終了 を押して、待ち受け画面に戻ります。

❸ 【PC で閲覧】を押す

現在ウェブサイトを表示させることのできるパソコンの一覧が表示されます。

確認

■ ウェブサイトをパソコンで閲覧するときは、下記すべての条件が整っていることを確認してください。条件が整っていない場合、本製品の【PC で閲覧】がグレー表示となり、パソコンに情報を送れません。

- パソコンはネットワーク接続されている（どこかで切断されていないか）
- パソコンの電源が入っている
- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」が起動している
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「RSS 連携ユーティリティを起動する」

すべての条件が整っていても【PC で閲覧】がグレー表示となる場合は、⇒ 102 ページ「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」をご覧ください。

■【PC で閲覧】は Macintosh には対応していません。

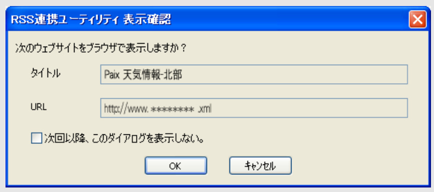
■ ウェブサイトの URL が取得できない場合や、URL が 256 文字以上の場合は、【PC で閲覧】がグレー表示となりパソコンに情報を送れません。

■ パソコンでウェブサイトを表示させる場合、プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒ 93 ページ「ネットワークの接続を確認する」

❹ ウェブサイトを閲覧するパソコンを選択して、【OK】を押す

あらかじめ閲覧するパソコンを設定しておくと、ここでパソコンを選択する手順を省略することができます。
⇒ 103 ページ「閲覧するパソコンを設定する」

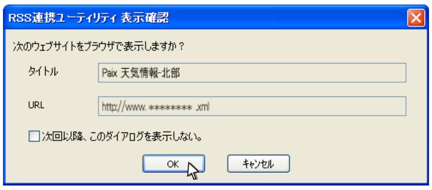
パソコンの画面に［RSS 連携ユーティリティ表示確認］のダイアログボックスが表示されます。



確認

■ パソコン一覧に目的のパソコンが表示されない場合は、⇒ 102 ページ「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」をご覧ください。

5 パソコン上のダイアログボックスの［OK］をクリックする



パソコンのウェブブラウザーが起動し、指定されたウェブサイトが表示されます。

パソコンでウェブサイトを表示できないときは

下記のような場合は、ネットワークで接続されているパソコンが本製品で正しく認識されていないことが考えられます。

- 本製品とパソコンをともにネットワークで接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していても、本製品の画面で【PC で閲覧】がグレー表示になり、操作できない。
- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動し、【PC で閲覧】を押しても、本製品の画面に表示されるパソコン一覧に目的のパソコンが表示されない。

パソコンで次の操作を行ってください。

(1) タスクトレイの をクリックして、表示されるメニューから［設定］－［(目的のデバイス)］を選択する
(2) ［RSS 連携ユーティリティ］ダイアログボックスで［検索］をクリックする
(3) ［デバイスの検索］ダイアログボックスで本製品を選び、［OK］をクリックする
(4) ［RSS 連携ユーティリティ］ダイアログボックスが表示されたら［OK］をクリックする

RSS の最新情報を取得する

［手動更新］

【更新設定】で設定されている更新間隔に関係なく、手動更新をすることで最新の情報を取得できます。

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【更新間隔】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 画面右上の【手動更新】を押す

【受付けました】と表示され、インターネットに接続します。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS の設定を変更する

スクロール速度を変更する

[スクロール速度]

待ち受け画面のRSS表示のスクロール速度を変更することができます。

お買い上げ時は【標準】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【スクロール速度】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 希望のスクロール速度を選ぶ

【速い／標準／遅い】から選びます。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

閲覧するパソコンを設定する

[閲覧 PC 設定]

ウェブサイトを表示させるパソコンが常に同じであれば、そのパソコンをあらかじめ本製品に設定しておくことをお勧めします。【PC で閲覧】でパソコンにウェブブラウザー起動指令を出すたびに、サイトを表示するパソコンを選択する必要がなくなります。

お買い上げ時は【閲覧 PC を選択しない】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【閲覧 PC 設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

ネットワーク上にある設定可能なパソコンが一覧表示されます。

確認

- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していないと、本製品の設定画面に表示されません。ウェブサイトの閲覧を希望するパソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動させてください。

2 希望のパソコンを選び、【OK】を押す

3 停止/終了 を押して設定を終了する

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
RSS
付録

RSS の取得状態を確認する RSS ステータス

RSS の取得が正常に行われているかどうかを確認することができます。

1 画面上の【メニュー】、【RSS】、【RSS ステータス】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

登録した RSS サイトの更新情報について、個々に取得状態を表示します。表示の内容については下表をご覧ください。

2 RSS ステータスの確認が終了したら、停止/終了 を押す

ステータス	状態および対処法	
正常	最新の情報の取得が正常に終了している。	
データエラー： 非対応形式	登録した RSS サイトのデータの形式が、本製品で対応可能な RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 以外である。	本製品では見られない RSS サイトです。登録を削除してください。
データエラー： 非対応文字コード	登録したRSSサイトで使用されている文字のコードが、本製品で対応可能な UTF-8、Shift-JIS、iso-8859-1 以外である。	
データエラー： フィード異常	配信データが壊れている。	本製品には問題がありません。RSS 配信元のデータ修復をお待ちください。
データエラー： 表示情報無し	表示する情報が含まれていない。	本製品には問題がありません。RSS 配信元からのデータ配信をお待ちください。
接続エラー： アクセス先のアドレス不明	RSS サイトのアドレスに誤りがある。	RSS サイトのアドレスを再度確認し、設定し直してください。
接続エラー： サーバへの接続失敗	LAN ケーブルが外れている。 RSS サイトのアドレスに誤りがある。 プロキシのアドレスに誤りがある。 ネットワークやサイトが混み合っている可能性がある。	いずれかもしくはすべてを順に確認し、接続または設定し直してください。正しく接続および設定できている場合は、しばらく待ってから接続してください。
接続エラー： タイムアウト	ネットワークやサーバーが混み合っている。	しばらく待ってから接続してください。
接続エラー： サーバへの接続不可	対応可能なデータサイズを超えているか、本製品では対応できない認証を必要とする RSS サイトである。	本製品では見られない RSS サイトです。登録を削除してください。
接続エラー： サーバへの認証失敗	プロキシのアカウント名、パスワードに誤りがある。	アカウント名、パスワードに誤りがないかを確認してください。わからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせて、正しく設定し直してください。
未接続	まだ RSS サイトへの接続を開始していない。	接続されるまでお待ちください。
未登録	RSS サイト URL が登録されていない。	

付録

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**
受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **とりまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**
受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● ADF（自動原稿送り装置）

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

れ